

テンプレート研究会

ニュースレター

Vol.07

2021年

Dr.David Lee Burns先生とのお別れ

2021年7月14日、アメリカにおけるテンプレート治療の理解者でもあり本会の顧問でもあるDr.David Lee Burns先生が前立腺癌による多臓器不全のためで急逝されました。安らかな眠りにつかれますよう、お祈り致します。

2021-7-26日付 Gayle夫人より長女、寛子宛

Dear Hiroko,

I'm sorry to have to tell you that Dr. Burns passed away on July 14 from cancer. He passed away in his sleep at home which is what he wanted. He had great affection for your father, you and your whole family. Please let Kiyoshi know that he has passed. I miss him tremendously! Life is not the same without him. With much affection, Gayle drdlburns@comcast.net

(長女 寛子との会話が今年から多くなっていました)

2021-6-26

やっとの事でWhat Upというアプリ入手し、30分ほどビデオ通信で話したばかりでした。昔の面影無く、とても小さく痩せ細り、悲しい思いで、しかし、先生の声はとても元気でした。前立腺癌で闘病15年、薬石の効なくでした。彼の選択は薬物中心でした。X-rays治療も受けていなかった。PSA-840で同期の親友と同じステージだと思っていた。不整脈が頻繁にでると言っていましたから、きっと最後は楽に心不全だったと思います。ご冥福を心から祈ります。

出会は1980年のAmerican Academy for Functional Prosthodonticsの総会がシカゴであり、Casey M Guzay先生が30分の講演を行う時で、Quadrant Theoremは顎関節症のためにあるので無く、頸椎との深い関係を発表して下さいと御願いましたが、通じなかった。すぐに、DR.Burnsがやってきて、Quadrant Theoremと自律神経の話をしたくさんした総会でした。その他の発表はSplintを試したら良かった、悪かったの内容で、Dr.Jhon M Stenger先生が解剖学からのアプローチ、Dr.Al C Fonder 先生が盛んに日本から来たDr.Kiyoshi Maehara と宣伝して頂きましたが、何故Splintが有効かの説明は一切無く、Dr.Burns先生と共にこのAcademyは無くなると予言し合ったのを覚えています。直ぐにCasey M Guzay先生が正式にDr.David L Burns先生を紹介頂き(Burns先生が Quadrant Theoremを継承すると思っていました)。学会後10回以上は診療所で治療(TP)させて頂きました。Burns先生の他界で1000名以上が集まるAmerican Academy for Functional Prosthodonticsは消滅したことになります。後を引き継いでいるのがNPO日本テンプレート研究会になります。Dr,Anthony C Frank先生、Dr.J M Stenger先生、Dr,A C Fonder先生達が立ち上げたAcademyは全員他界されました。素晴らしい Quadrant Theoremをベースに咬合理論のStandardを目指し共に頑張りましょう。

前原 潔



1990年頃FDI学会、メキシコ参加時。
右の二人は武田先生夫妻(寺川先生のお嬢様)



次女典子、長女、寛子、Gayle夫人、
妻、David、Eleanor Guzay 15
年前で、この後前立腺癌始まった。



左より前原、David、黒田顧問、妻、
鶴原常雄顧問(他界)、寛子(長女)

再掲 ～テンプレート治療教本 出版プロジェクト始動～

城西歯科大学(明海大学歯学部)薬理学教室の故佐藤精一教授が研究生を率いて初めての海外旅行として(やっと自由に動けた)、シカゴの(American Academy for Functional Prosthodontics)の研修会に参加目的で(1979-8)旅立ちました。サンフランシスコでビールを注文するとパスポートを拝見(年齢確認)と目から鱗。

オレンジジュースが通じず、リンカーンパークに至っては書いても通じないで(スペルミス)行けなかった目から鱗。

鮮烈なCasey M Guzayの Quadrant Theoremは上下顎運動中心は顎関節内でなく、頸椎の正中環軸関節にあり、開口、閉口、側方運動は正中環軸関節を軸に公転運動をしているとの証明、および、正常と異常咬合とを明確にした講義に目から鱗。

次にDr.Stenger先生のスポーツ歯学、Dr.Fonder先生の咬合異常のストレスからの全身疾患の改善に目から鱗。

帰国後、大阪市立小児保健センター(子供病院)小児内科長、故鶴原 常雄医師の歯科と医科との共同研究「テンプレート研究会」の快諾は20世紀の最大の目から鱗でした。

会員先生方におかれましてもテンプレート療法は目から鱗の経験だったと思います。この事実を書籍にして文章にして後世に残す試みを決意しました。

先生方の目から鱗の臨床例の原稿を募集いたします。奮って投稿御願ひ申し上げます。

募集の詳細は同封の募集要項をご参照してください。

ご要望、ご質問があれば理事長か事務局両宮までご連絡ください。

～会員情報アンケートご協力のお願ひ～

日本テンプレート研究会では会員への円滑な情報発信と会員サービスの充実に向け会員情報のメンテナンスを行っています。つきましては同封のアンケート用紙をご記入頂きFAXでご回答頂くか下記のURLまたはQRコードから回答フォームにアクセスしてご回答ください。

～2021年総会報告～

2021年6月12日に会場とZOOM配信によるハイブリッド形式で2021年年次総会を開催しました。当日は13名が参加し、坂下好一理事が議長に選出され第1号～第4号議案まで満場一致で可決されました。7月14日に急逝されましたDr.David Lee Burns先生も顧問として選出されておりました。ご冥福をお祈りいたします。

総会終了後には牛久保理事と武内理事による特別講演も開催されました。

今後も全国の先生が参加されやすいようにZOOM・LINEなどのビデオミーティングの有効活用を検討していきます。

理事長	前原 潔
専務理事	田賀 仁
専務理事	高山 史年
専務理事	武内 久幸
理事	有川 公仁
理事	牛久保 順一
理事	坂下 好一
理事	馬場 正英
理事	原園 聖一
理事	松井 利行
理事	松田 佳夫
監事	吉川 節子

顧問	伊藤 春生
顧問	大久保 潔重
顧問	黒田 悦夫
顧問	高田 富三男
顧問	寺下 和平
顧問	橋本 賢二
顧問	南 直臣
顧問	申 元漢
顧問	李 基喆
顧問	David L Burns